

蒲鉾製造工場における快適空調と食品冷却

この蒲鉾工場では、“おいしさを楽しむ”をテーマに個性的な新製品の開発に積極的です。

新工場建設にあたって、効率的かつ衛生的な生産ラインの導入と共に、快適な空調、製品の鮮度保持およびコスト低減のため、氷蓄熱空調システムを導入しました。

本システムの導入により、夜間への負荷移行に伴う熱源機器の小容量化と契約電力の低減、そして産業用蓄熱調整契約への加入により蓄熱に係わる使用電力量の割引が適用され、電気料金の低減が図られました。

特に、この氷蓄熱槽の冷水は工場の空調を行うとともにフリーザー用冷凍機の冷却水としても使用し、昼間の冷凍機消費電力を大幅に低減しています。

改善効果

- 夜間への負荷移行により電気料金が低減しました。(約150万円/年)
- 熱源機容量が小さくなり契約電力(基本料金)が低減しました。(約480万円/年)

設備概要

- 産業用蓄熱調整契約適用負荷280kW
 - ・冷凍機130kW×2台
 - ・その他ポンプ類20kW
- 氷蓄熱槽90m³

システム図

